

復活節第5主日(A年)

特 祷

全能の神よ、あなたをまことに知ることは、永遠の命に至る道です。どうかわたしたちが、み子イエス・キリストは道であり、真理であり、命であることを深く知ってみ跡に従い、永遠の命に至る道を絶えず進むことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。
アーメン

第1朗読 使徒言行録 17:1-15

パウロとシラスは、アンフィポリスとアポロニアを経てテサロニケに着いた。ここにはユダヤ人の会堂があった。パウロは、いつものように、会堂へ入って行き、三回の安息日にわたって聖書を引用して論じ合い、「メシアは必ず苦しみを受け、死者の中から復活することになっていた」と、また、「このメシアは、私が伝えているイエスである」と説明し、論証した。それで、彼らのうちのある者は信じて、パウロとシラスの仲間になった。その中には、神を崇めるギリシア人が大勢おり、貴婦人たちも少なくなかった。しかし、ユダヤ人たちはそれを妬み、広場にたむろしているならず者たちを抱き込んで暴動を起こし、町を混乱させ、ヤソンの家を襲い、二人を民衆の前に引き出そうとして捜した。しかし、二人が見つからなかったので、ヤソンと数人のきょうだいを町の当局者たちのところへ引き立てて行って、大声で言った。「世界中を騒がせてきた連中が、ここにも来ています。ヤソンが彼らを家に泊めています。彼らは皆、皇帝の勅令に背き、『イエスという別の王がいる』と言っています。」これを聞いた群衆と町の当局者たちは動揺した。当局者たちは、ヤソンやほかの者たちから保証金を取ったうえで彼らを釈放した。

きょうだいたちは、直ちに夜のうちにパウロとシラスをベレアへ送り出した。二人はそこに到着すると、ユダヤ人の会堂に入った。ここのユダヤ人は、テサロニケのユダヤ人よりも素直で、非常に熱心に御

言葉を受け入れ、そのとおりかどうか、毎日聖書を調べていた。そこで、そのうちの多くの人が信じ、ギリシア人の貴婦人や男たちも少なからず信仰に入った。ところが、テサロニケのユダヤ人たちは、ベレアでもパウロによって神の言葉が宣べ伝えられていることを知ると、そこへも押しかけて来て、群衆を扇動し騒がせた。それで、きょうだいたちは直ちにパウロを送り出して、海岸の地方へ行かせたが、シラスとテモテはベレアに残った。パウロに付き添った人々は、彼をアテネまで連れて行った。そして、できるだけ早く来るようにという、シラスとテモテに対するパウロの指示を受けて、帰って行った。

詩 編 66:1-11

- 1 全地よ、神に向かって喜びの声を上げよ || み名の栄えをほめ歌い、その栄光を賛美せよ
- 2 神に向かって言え、「あなたのみ業は恐るべきもの || 敵も偉大なみ力にひざをかがめる
- 3 全地はあなたを伏し拝み || み名をたたえて喜び歌う」
- 4 来て、神のみ業を仰ぎ見よ || 人びとに行われた恐るべきみ業を
- 5 神は海を陸に変え、人は川の中を歩いて渡った || 彼らは神のみ業を感謝して喜んだ
- 6 神は力を現してとこしえに治め || 諸国に目を注ぎ、逆らう者を高ぶらせない
- 7 すべての民よ、わたしたちの神をたたえ || 賛美の声を響かせよ
- 8 神はわたしたちに命を与え || 足を揺るぎなく支えられる
- 9 神よ、あなたはわたしたちを試し || 銀を精錬するように清められた
- 10 わたしたちを網に掛け || 背に重荷を負わせ
- 11 人びとが頭の上を乗り越えて行くのに任せられた || わたしたちは火と水の中を通り、あなたはわたしたちを救い、自由にされた

使徒書 ペトロの手紙1 2:1-10

だから、一切の悪意、一切の偽り、偽善、妬み、一切の悪口を捨て

去って、生まれたばかりの乳飲み子のように、理に適った、混じりけのない乳を慕い求めなさい。これによって成長し、救われるようになるためです。あなたがたは、主が恵み深い方だということを味わったはずです。主のもとに来なさい。主は、人々からは捨てられましたが、神によって選ばれた、尊い、生ける石です。あなたがた自身も生ける石として、霊の家に造り上げられるようにしなさい。聖なる祭司となって、神に喜んで受け入れられる霊のいけにえを、イエス・キリストを通して献げるためです。聖書にこう書いてあるからです。

「見よ、私は選ばれた尊い隅の親石を
シオンに置く。

これを信じる者は、決して恥を受けることはない。」

それゆえ、この石は、信じているあなたがたには掛けがえのないものですが、信じない者にとっては、

「家を建てる者の捨てた石
これが隅の親石となった」

のであり、また、

「つまずきの石
妨げの岩」

なのです。彼らがつまずくのは、御言葉に従わないからであって、そうなるように定められていたのです。しかし、あなたがたは、選ばれた民、王の祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある顕現を、あなたがたが広く伝えるためです。あなたがたは、

「かつては神の民ではなかったが
今は神の民であり
憐れみを受けなかったが
今は憐れみを受けている」

のです。

福音書 ヨハネによる福音書 14:1-14

「心を騒がせてはならない。神を信じ、また私を信じなさい。私の

父の家には住まいがたくさんある。もしなければ、私はそう言っておいたであろう。あなたがたのために場所を用意に行くのだ。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたを私のもとに迎える。こうして、私のいる所に、あなたがたもいることになる。私がどこへ行くのか、その道をあなたがたは知っている。」トマスが言った。「主よ、どこへ行かれるのか、私たちには分かりません。どうして、その道が分かるでしょう。」イエスは言われた。「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、誰も父のもとに行くことができない。あなたがたが私を知っているなら、私の父をも知るであろう。いや、今、あなたがたは父を知っており、また、すでに父を見たのだ。」フィリポが、「主よ、私たちに御父をお示してください。そうすれば満足します」と言うと、イエスは言われた。「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、私が分かっているのか。私を見た者は、父を見たのだ。なぜ、『私たちに御父をお示してください』と言うのか。私が父の内におり、父が私の内におられることを、信じないのか。私があなたがたに言う言葉は、勝手に話しているのではない。父が私の内におり、その業を行っておられるのである。私が父の内におり、父が私の内におられると、私が言うのを信じなさい。もしそれを信じないなら、業そのものによって信じなさい。よくよく言うておく。私を信じる者は、私が行う業を行うだろう。そればかりか、もっと大きなことを行うであろう。私が父のもとへ行くからである。私の名によって願うことを何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる。私の名によって願うことは何事でも、私がかねえてあげよう。」

代 禱

代禱者 新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のために祈りましょ
う

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大によって、

今、大きな困難の中にある世界を顧みてください。病に苦しむ人に必要な医療が施され、感染の終息に向けて取り組むすべての人、医療従事者、病者に寄り添う人の健康が守られますように。亡くなった人が永遠のみ国に迎え入れられ、尽きることのない安らぎに満たされますように。不安と混乱に直面しているすべての人に、支援の手が差し伸べられますように。

希望の源である神よ、わたしたちが感染拡大を防ぐための犠牲を惜しまず、世界のすべての人と助け合って、この危機を乗り越えることができるようお導きください。

わたしたちの主イエス・キリストによって。

一 同 アーメン

(2020年4月3日 日本カトリック司教協議会認可の祈り。一部省略)

代祷者 世界の教会とわたしたちの教区のために祈りましょう。

本日は、アングリカン・コミュニオン:日本聖公会、ナタナエル植松誠首座主教(北海道教区主教)のため

日本聖公会:神学校のために祈る主日—聖公会神学院、ウイリアムス神学館のため

東京教区:三光教会、香蘭女学校(礼拝堂、中等科、高等科)のため

エルサレム教区:船員の為のミッション・聖パウロ・聖ペテロ教会(アカバ)のため

メリーランド教区:聖ヤコブ教会(モンクトン)、聖トマス教会(ギャリソン・フォレスト)のため

これらの教会、また世界に広がるすべての教会を覚えて祈ります

一 同 主よ、お聞きください

代祷者 世界の国々の正義と平和のために祈りましょう。

争い・分裂のうちにある、またそれを引き起こしている国々とその指導者の悔い改めのために不正義、不平等、人間の尊

厳を傷つける搾取、傲慢や強欲、ますます一般化する無関心を私たちが取り除くことができるように祈ります

一 同 主よ、お聞きください

代祷者 わたしたちの教会と地域社会のために祈りましょう。

わたしたちの所属する教会のため、教会の置かれた地域社会のため、自分の家が属する地域社会のために祈ります

一 同 主よ、お聞きください

代祷者 苦しみや悲しみのうちにある人びとのために祈りましょう。

心や体に病を持つ人びとのため、孤独な人、愛する人を失った人、抑圧・虐待されている人びとのため、家や食べ物がない人、貧困のうちにある人、生活に必要なものが与えられない人びとのため、難民、囚人、また犯罪被害者のため、事故や過失により傷を負った、また他の人に傷を負わせた人びとのため、その他、多くの悩み・悲しみ・苦しみのうちにある人びとのために祈ります

一 同 主よ、お聞きください

代祷者 世を去った人びとのために祈りましょう。(この世を去った方々を覚え、名前を挙げてよい)

世を去ったすべての人の、あなたの永遠のみ国における平安を祈ります

一 同 主よ、お聞きください

代祷者 憐れみ深い神よ、あなたは私たちを知り、私たちを愛し、私たちの祈りをお聞きくださいます。私たちが、いつもあなたとの交わりのうちにあり、喜びをもって仕えることができますように。み子イエス・キリストのみ名によってお願いいたします

一 同 アーメン